



## 外国出張報告書 298

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名            ガーナ、カメルーン
2. 出張月            平成 25 年 10 月
3. 出張目的            稲作普及推進のための農業用水の管理に関する調査及び  
                             アフリカライス会議参加：B

#### 4. 成果の概要

農水省からの補助を受けて実施している平成25年度海外農業農村地球環境問題等調査事業「アフリカ稲作普及促進整備調査」事業（以下「このプロジェクト」と略す）の調査に資するため、ガーナ国及び近隣諸国で実施中の他プロジェクトの情報を収集した。

このうち、ガーナ国研究機関と JIRCAS 受託（土壌肥沃度プロ）による研究成果の発表会（会議 10 月 15 日、現地調査 16 日）では、(1) 日本国や JIRCAS の技術協力に関する好意的な発言があったが、ワークショップの最後の議長総括として、食料農業省北部州局長から土壌肥沃度プロへの感謝の言葉があった。また、(2) 現地の TV クルーおよび新聞記者による取材も実施された。

10 月 21 日から 24 日にかけてカメルーン国で開催された第 3 回アフリカ稲会議（AfricaRice Congress: 3ARC）では、JIRCAS の稲作マニュアルに関するポスターを共同発表するとともに、JIRCAS 展示ブースにおいて「アフリカ稲作振興プロ」の英文ポスターを展示し訪問者に説明した。展示では、研究者は(a)「いもち病」類型化の成果に、企業の参加者等は(b)稲作マニュアルの成果や (c)肥沃度資源の成果への関心が高かった。